

令和7年3月24日

釜石市議会議長 千葉 榮 様

議会だより編集特別委員会  
委員長 佐々木 義 昭

## 行政視察報告書

議会だより編集特別委員会による行政視察を下記の通り実施しましたので、報告致します。

1. 研修項目 「議会報の編集・発行について」

- ① 北上市議会 広報委員会
- ② 久慈市議会 広聴広報会議

2. 視察日程 令和7年2月12日～2月13日

- ① 2月12日 北上市議会 広報委員会
- ② 2月13日 久慈市議会 広聴広報会議

3. 参加者 【釜石市】

議会だより編集特別委員会 7名

委員長：佐々木義昭 副委員長：細田孝子  
委員：菊池秀明 深沢秋子 村田信之 佐藤憲弘  
井筒健太郎

議会事務局 係長 大信田太郎

① 【北上市】

北上市議会 広報委員会 3名

委員長：梅木しのぶ 副委員長：熊谷浩紀  
委員：藤原 慶

議会事務局議事課 主任 3名

② 【久慈市】

久慈市議会 議長 濱欠明宏

久慈市議会 広聴広報会議 5名

座長：橋上洋子 副座長：佐々木 貴  
委員：畠中勇吉 久保繁明 河野総平

議会事務局 1名

4. 研修概要 ①・② 詳細は別紙参照。

# 釜石市議会 議会だより編集特別委員会 視察報告書

## 北上市議会「きたかみ市議会だより」視察報告

視察日：2025年2月12日（水）

視察先：北上市議会 広報委員会

参加者：釜石市議会 議会だより編集特別委員会

### 1. 北上市議会だよりの現状と課題認識

北上市議会では、かつて「自分たちが伝えたいこと」と「市民が知りたいこと」に乖離があるという課題を認識していた。そのため、「開かれた議会、読みやすい広報紙」を目指し、議会だよりの改善に取り組んできた。

- 岩手日報の支局長を講師に迎え、リードや見出しのつけ方、写真の選び方などの研修を実施。
- 研修は2年に1回、委員会改変ごとに実施。
- 議会だよりのサブタイトルを「北上市議会を知る・読み解く広報紙」とし、市広報紙との差別化を図った。
- 市政に興味を持つ市民をターゲットとし、コア層への情報発信を意識。
- 他のチラシや広報紙の中で目を引き、手に取ってもらえるデザインを工夫。
- 北上市議会基本条例 第17条において、議会広報の役割が定められている。

### 2. 議会だよりリニューアルの背景と経緯

長年の課題であった「議会広報の変革が進まない」という現状を打破するため、「まずはやってみよう」とPDCAサイクルを回す方針を採用。議会だよりは議員個人の情報発信の場ではなく、「議会全体の広報」としての役割を明確にし、令和6年8月号からリニューアルを実施。

- 議員全員協議会で方針発表、決定。
- 選挙前の混乱の中で改革を進める。

### 主なリニューアル内容

### 3. 広報紙のリニューアル（表紙）

- 「手に取って開きたくなる」表紙づくりを意識。
- シンプルなデザインにすることで、情報量を整理。
- 他の配布物やチラシとの差別化。

- 市民が興味を持つテーマや議会の重要事項を中央に配置。
- 鍵穴をモチーフにしたデザインで「議会の扉を開き、議論をオープンにする」イメージを表現。
- 広報委員の藤原慶議員がデザインを担当。

## 4. 広報紙のリニューアル（特集記事）

- 新たに特集記事を導入。
- 市民の関心が高いテーマを取り上げ、興味を引く内容に。
- これまでの「決まったこと、終わったこと」の報告だけでなく、現在進行中の議論も掲載。
- 市民の視点を重視し、意見の偏りがないよう工夫。
- ロゴフォームというシステムを活用し、アンケートを実施。
- 議員の SNS でアンケートを拡散。
- 議会ホームページで紙面公開に先立ち掲載。
- マチイロアプリでも配信（<https://machihiro.town/map>）。

## 5. 広報紙のリニューアル（一般質問）

- 一般質問は 1 ページ 3 人とし、質問項目をひと目で分かるように工夫。
- 画像を掲載し、視覚的に理解しやすいデザイン。
- 文字数を減らし、適度な余白を確保。
- 作業時間の短縮を実現。
- 各議員に広報委員が 1 人ずつ担当し、記事の校正を実施。
- 校正後の記事は編集会議で検討。
- 一般質問が多い場合はページを増やすのではなく、1 ページに 4 人掲載することで対応。

## 6. 広報紙のリニューアル（裏表紙）

- 4 コママンガを導入。
- イラストが得意な議員が作成。
- 幅広い世代に親しまれるデザイン。
- 「ちょっとブレイク！」コーナーとして、市の政策に関係する人や場所、取り組みなどを議員が取材し、写真撮影も実施。
- 「議会の動き」は過去の出来事の報告に留まらず、市民にとって有益な情報発信を意識。

---

## 7. 議会広報リニューアルのプロセス

時期	内容
令和 5 年 1 月	寄居町、奥州市を視察
令和 5 年 4 月～7 月	情報発信全体の見直し、検討
令和 5 年 8 月	議員全員協議会で情報発信の方向性、広報紙リニューアルのイメージを説明
令和 5 年 9 月～令和 6 年 3 月	「広報編集ガイドライン」を作成
令和 6 年 3 月	選挙実施
令和 6 年 4 月～	これまでの取り組みを振り返り、リニューアルに向けた具体的な検討
令和 6 年 8 月	リニューアル版の「きたかみ市議会だより」を発行

## 8. まとめと視察の所感

北上市議会の広報委員会は、「市民が知りたい情報を届ける」ことを軸に広報紙のリニューアルを実施していた。PDCA サイクルを回しながら、改善を重ねる姿勢が印象的であった。

釜石市議会の議会だより編集特別委員会としても、今回の視察で得た知見を参考に、釜石市議会だよりのあり方を検討し、より市民にとって有益な広報誌の作成を目指したい。

# 釜石市議会 議会だより編集特別委員会 視察報告書

## 久慈市議会「かだってタイムズ」視察報告

視察日：2025年2月13日（水）

視察先：久慈市議会 広聴広報会議

参加者：釜石市議会 議会だより編集特別委員会

### 1. リニューアルのきっかけと経緯

久慈市議会が議会広報のリニューアルに取り組むきっかけとなったのは、東京都あきる野市の議会だより「ギカイの時間」であった。

- 2016年（平成28年）2月、関東若手市議会議員の会が久慈市を行政視察。
- 同行していたあきる野市議会議員を講師に迎え、議会広報リニューアルに関する研修会を実施。
- 研修会では「あきる野市では、市役所の入口に広報紙や配布物の表紙をパネル展示し、市民が「手に取ってみたい」と感じるデザインを選定」というエピソードを聞く。

この研修を契機に、リニューアル内容や議会広報の在り方について意見交換を重ね、「市民と議会を結ぶ情報誌」を目指して取り組みが始まった。

### 2. リニューアルに向けた準備と検討

- 先進自治体の議会広報を収集し、参考記事やレイアウトをピックアップ。
- 「地方議会人」の「議会広報クリニック」も参考に。
- 定例会以外の情報をコンパクトにまとめ、詰め込みすぎない工夫。
- 特集記事を導入し、議会の行動力を示す紙面へと改善。
- 広聴広報会議内に「議会だよりリニューアル検討部会」（5人）を設置し、調査・研究・比較を実施。
- 素案をもとに意見交換と修正を繰り返し、最終形を決定。

### 3. リニューアルの主な内容

#### （1）読みたくなる紙面づくり

- ネーミングを「かだってタイムズ」に変更。
- 「かだる（=語る）」「かだる（=一緒に何かをする）」という地域の言葉のダブルミーニング。親しみやすい印象を演出。

- レイアウトに統一感を持たせ、十分な余白を確保。
- アイキャッチを活用し、直感的に理解しやすいデザインを採用。
- 市民が関心を持ちやすい記事内容へと転換。

## (2) 特集記事の導入

- 表紙と特集記事を連動させ、特集内容を強調。
- 高校生・中学生への取材を実施し、読者層を拡大。
- 市民の意見を議会へ反映し、議会の活動を身近に感じられる紙面構成。
- 取材先は広聴広報会議で選定し、事前に意見を募る。
- 取材時のマナーとして、TPOを意識した服装や名刺交換を徹底。

## (3) 議案 Pick up

- 広聴広報会議が選定し、分かりやすく整理。
- 重要な議案を厳選し、詰め込みすぎず、読みやすさを意識。
- ピックアップ担当者は定例会初日に決定

## (4) 一般質問の見せ方

- 「ここが聞きたい！一般質問」というページタイトル。
- 質疑は短く簡潔にまとめ、代表質問は1ページに2人、個人質問は1ページに3人、関連質問は1ページに6人掲載。
- 文責は広聴広報会議にある。

## (5) 議会活動の報告

- 「ぎかい NEWS」では、議案審議以外の議会活動を紹介。
- 「追跡レポート あの質問どうなった？」をシリーズ化。
- 最低でも年1回は特集し、市民に議会の影響力を伝える。
- 議員一人の質問が施策となって結実したものもあるし、何人かの議員が連携した質問もある。
- 議事録を遡って調べるのは大変だが、やりがいがあり、市民も知りたいところである。

## (6) 裏表紙の工夫

- 「わたしの未来」コーナーで小学生の将来の夢を紹介。
- 「ひと・こえ」では、市民（議会モニター）の意見を掲載。
- 「議会を傍聴しませんか」として、次回の議会日程を案内。

---

## 4. 効果と課題

## (1) 効果

- 議員の意識改革につながった。
- 住民や議会モニターから一定の評価を受けた。

## (2) 課題と今後の展望

- さらに改善の余地あり。
- 市民の認知度向上が課題。
- 「かだってタイムズ」や議員の存在を PR するため、イベントで「プチ議会」を開催。
- 議会広報ブースを設け、パネル展示や議員の顔写真を掲示。
- 「かだってタイムズ」をより多くの人に知ってもらうため、配布方法の工夫を検討。

---

## 5. まとめと視察の所感

久慈市議会の広報リニューアルの取り組みは、市民の関心を引き、議会活動をより身近に感じてもらう工夫が随所に見られた。